

めいわ かわら版



めいわ月見保育園 主任保育士 **鈴木 教江**

社会福祉法人明和会のめいわ月見保育園で主任保育士として活躍する鈴木教江さん。思いやりの心に溢れ、周囲から厚い信頼を寄せられています。努力を惜しまず働き続けられる職場への思い、仕事に込める気持ちに迫りました。

—— 入社のきっかけを教えてください。

私が幼稚園に通っていた頃、大好きな先生がいました。いつもニコニコしていたその先生のようになりたいて、ずっと夢を抱いてきたのです。思うようにいかずに挫折そうになったときもありましたが、諦めませんでした。その結果、短期大学を卒業後、新卒入社できたのです。出産を機に1度離れましたが、2010年に復職が叶いました。毎日仕事が楽しく、保育士になれて良かったことから思っています。

—— 仕事で心がけている点や、やりがいをお聞かせください。

復職後5年程で主任となり、めいわ可睡保育園で3年経験を積んだ

そんな一言だけでも元気が出るものです。私自身、先輩から「こういうところがあなたの良さだよ」といつてもらったことが忘れられません。先輩たちと常に話しやすい関係でありたいと願い、もともと頭張れるように一緒に考えていきたいと思っています。

共に歩んでいこうと一人ひとりに目を向ける鈴木さん。保育でも、子どもたちがのびのびと生活しながら毎日が楽しいと感じられるよう、そして自分を好きになれるよう心配りをしてしていると語ります。優しい気持ちで周囲と関わり合う鈴木さんは、これからも後輩の目標になる人材として歩みを進めていくに違いありません。

後、めいわ月見保育園へ異動しました。0歳児から5歳児まで年齢ごとに1クラスずつある中、皆が笑顔で過ごせるよう「元気と笑顔」を心がけています。担任を持たず、全体を見て職員が働きやすくなるよう気を配っているのですが、逆にまだまだ助けていただく方が多い状況です。職員や子どもたちが少しでも困っていたら、力になりたいと思っています。

—— 日々の保育の場では、皆が諦めずに一生懸命仕事に取り組むことで心がつながり、一緒に達成感を味わえると、やりがいを覚えます。

—— 娘さんも保育士だそうですね。

明和第一保育園で保育士をしています。娘は小さな頃から様々な年齢の子ともたちと一緒に遊び、下の子の面倒もよく見てくれたので、私よりも向いているかもしれませんね。私の働く姿を見て「楽しそう」と感じていたらしく、進路について考えるとき、そんな自分と向き合いながら保育士になると決めていったようです。卒園した園で働けるとい



うご縁に感謝しています。私と同じ明和会での勤務にあたっては、周りの方が働きづらいのではないかと心配しましたが、皆さん本当に良い方ばかりで、娘も自分の小さな頃を知っている方や優しい先輩方のおかげで楽しく仕事に励んでいます。親子で成長させていただいた場所で働けるなんて、とても幸せなことだと思います。

—— プライベートについて伺います。趣味は何ですか。

ファミリーバドミントンを地域の方と一緒に10年以上続けています。年齢や性別関係なく3人1組でスポンジが付いた羽でプレー。大会では、

強さごとに分かれた部で競い、優勝したチームは上の部へ上がっていくます。私は1度優勝。そのときの気持ち忘れられず、負けても仲間と「次は優勝を目指そう」と明るく汗を流しています。今はコロナ禍で参加できていませんが、楽しく体を動かすことはリフレッシュにもなり、状況が落ち着いたらまた頑張りたいと思います。

—— 最後に、今後の目標をお願いします。

これまで周囲の方に助けられて生きてきました。つまづいたことも数多く、自分に劣等感を持っていたのですが、今はそんな弱さを強みに変えていきたいと考えているのです。うまくできなかった経験をしているからこそ、そのときの気持ちがある。支えられた分、これからは私が誰かを支えたいと思います。例えば職員が困っていたら、答えを与えるのではなく、その職員の良さを引き出しながら、自分で考え進んでいけるように声をかける。

「いつもニコニコしているね。頑張っているね」。

あきは寮 あゆみの家分場

あゆみの家分場についてどのくらいご存知ですか？
小規模だからこそその工夫や取り組み、また今後の目標など後藤さんにお話を聞きました！



あきは寮 あゆみの家分場
サービス管理責任者

ごとう ともみ
後藤 共美さん

PROFILE

後藤さんのプロフィール
休日は家で過ごすことが多くあります。様々なジャンルの本を読んでいます。

あゆみの家分場に
キャッチコピーを
つけるなら？

「きめ細やかな支援」

分場ということで規模はあまり大きくありません。
そのため、各個人に合わせた支援が可能です。

メンバー構成

職員6名と13名の利用者様で成り立っています。職員は正社員が男性2名、女性1名、パートが3名です。職員の年齢層は高めですが、元気に明るく仕事をしています。最近は暑さで疲れることもあります。リズム体操を行なう際は、元気に必死で足を上げています(笑)



自慢できるところ

あきは寮グループとしての大規模な施設とあゆみの家分場としての小さい施設の良いところを兼ね備えている点が自慢です。大規模グループとしての利点は、大人数の職員から意見を集めることができ、様々な工夫を行なうことができることだと思っています。また、あきは寮の利用者様と顔を合わせることもあるので、良い刺激を受けられます。小規模としての利点は、利用者13名に対して、対応できる職員が5名いるので、利用者様一人ひとりの変化を素早く気づくことができます。また、にぎやかな雰囲気苦手な方には人数が少ないことも魅力に感じていただけるポイントだと思います。

独自の取り組み

身体機能への働きかけを考慮した取り組みを行なっています。マッサージや筋肉の弛緩訓練を行ない、体の緊張が少しでもほぐれる機会になればと思っています。温めた手でミルクを付けてマッサージを行なうと、利用者様の顔もほぐれていくのが目にできます。

今後の目標

年度代わりに職員の異動や変更がありました。そのため、今まで関わっていなかった職員と利用者様が接することになりました。初めて接する職員を前にして、自分の思い通りに動いてくれなかったり、緊張してしまったりすることも多くあったと思います。そのため、なるべく早く、利用者様から接しやすい関係を作ることが目標としています。以前から接していた職員さんに利用者様の状態について尋ねることもあります。また、新しい職員になったことで、新たな工夫や取り組みを行なうこともできています。最近では、コロナで難しくなった外出に代わり、かき氷やプリンを作る活動を始めました。日常とは違う活動を行なうことで刺激にもなりますし、利用者様と職員の距離を近くすることもできるので、今後も継続していくつもりです。

今だから話せる 失敗談

仕事をしていれば大なり小なりミスは起きてしまうもの……。今回はあきは寮あゆみの家分場の皆さんから失敗談をお聞きました。恥ずかしいエピソード、ヒヤッとするエピソードが盛沢山です！



何事も経験です。失敗して覚えることも、長い人生には沢山あります。若い頃には、なんでも挑戦して失敗も自分の宝にし、成長していくものです。そして次へのチャレンジをしてくだい。今の仕事は命を預かっているので失敗は許されません。慎重な行動を心がけています。

生活支援員

さいとう めぐみ

斉藤 恵さん

時期：30年以上前の話

美容関係の仕事をしていた際に、着物のことなど何も知らなかった私が袴の着付けのヘルプを頼まれ、初めてやったことです。お客様は紳士な方、数人でいらして朝早く急がれていたかと思います。着付けも着々と進み、あとは羽織を着て羽織紐を着けて終了……。のはずでしたが、私は羽織紐を丁寧に解いてしまったのです。そうです、羽織紐は結んだまま羽織に着けるのです。知らなかったとはいえ、とんでもないことをしていました。申し訳ない気持ちと自分のやった情けない失敗、30年以上経った今でも覚えています。



どんなに「やってしまった」「恥ずかしい～」といったことでも、後でネタにできると思えば大丈夫です。

サービス管理責任者

ごとう ともみ

後藤 共美さん

時期：15年前：以前の職場 2年前：あきは寮で

15年前：以前の職場でグループホームへ食事を運ぶ業務中、運転の際に食缶を倒してしまい、車中にお吸い物を撒いてしまう状態に。利用者さんからはメニューが違うと言われながら、慌てて新しいスプーを作って出しました。2年前：あきは寮で入浴支援中に、はいていたズボンが大きく破れているのに気づかず、寮内うろうろしたところ、後輩から「下着見えています」の一言。恥ずかしすぎました。



情緒不安定な方や粗暴のある方に接する際は細心の注意が必要だと学びました。

生活支援員

のだ しげる

野田 繁さん

時期：3年くらい前

あまり面識のない利用者に検温を行う際に、拒否をされてしまいましたが半ば強引に行った結果、ガラス扉を力強く閉められてガラスが割れてしまいました。



生活支援員

なかじま しげのり

中嶋 茂則さん

時期：1980年代後半

30年以上前、世はまさにバブル景気真っ只中。私は某有名ドーナツ店でアルバイトをしていました。売れ残ったドーナツは全部廃棄で、毎日ゴミ袋いっぱい捨てていました。好きなだけ持ち帰ることも店長の許可が出ればOK。当然のように大量に袋詰め持ち帰っていました。若かりし頃ですのでいくらでも食べられました。しかし、そのおかげでかなり太り、持ち帰ったものを食べ切れないと結局捨ててしまうこともしばしば……。今思うと何て雑なことをしていたんでしょう。時代は変わっても同じようなことはありますね。食べ物は大切にしましょう、というお話でした。



足元、周りをしっかり見て行動しましょう(笑)

生活支援員

もり れいこ

森 令子さん

20年くらい前

子どもに気を取られ、あと一段あった階段を踏み外し、剥離骨折しました。買い物先で、中の物に気を取られてドアが目に入らずそのまま激突したことも……。



ミスを最小限にとどめるために、自分だけで判断できないときは、助けを求めることも必要と思います。

生活支援員

たまかわ ひろよし

玉川 廣吉さん

時期：10年くらい前 運送の業務にて

納品先で、フォークリフトの作業中に製品の入った台車を転倒させる失敗をしました。キャスター付台車でストッパーが付いていなかったため、台車が動き先端がフォークから外れ転倒。製品は無事か、納期時間は間に合うのか、頭の中が真っ白になり、しばらく動けなくなりました。先方に指示を仰ぎ、製品を持ち帰り検品した結果傷はなく時間内に再納品することができ、事なきを得ました。その後は自分でストッパー代用品を用意して再発防止に努めました。